

# 地方創生事業について

## 代表質問



政友会第二

高野 礼子 議員

# 運転免許証自主返納事業について

**質問**…地方創生制度をどのように活用しているのか伺いたい。

**答弁**…国や地方自治体の地方創生の取り組みを支援し、情報支援ではビッグデータを活用した地域経済分析システムが提供され、未来創造戦略の評価指数、KPIの設定や本市の主要産業の分析に活用しています。人材支援では地方創生コンシェルジュ制度により栃木県担当47名

**質問**…運転免許の自主返納者の状況について伺いたい。

**答弁**…本市における運転免許証自主返納者数は、平成20年は2名であったものの、平成26年75名、平成27年101名、平成28年136名と増加しています。

**質問**…公共交通（路線バス、デマンド交通）運行の見直し状況について伺いたい。

**答弁**…暮らしの足とお出かけの

が配置され、施策の検討や交付金等の活用に助言をいただいています。財政支援では地方創生関連の交付金制度が創設され、平成27年度は地方創生先行型交付金を活用し、テレビ、FMラジオを活用した本市情報発信事業を実施しています。平成28年度

は地方創生加速化交付金を活用し、昨年9月に大田原市移住・定住サポートセンターを開設し

足の確保に向けて利用者増加のための市営バスと民間路線バスの共通券発行や既存デマンド交通の改善と小さな交通の導入により、地域の状況や交通弱者の利便性向上に配慮し、市民の皆さんが利用しやすい公共交通を目指していきます。

**質問**…無料乗車証や無料乗車券の有効期限1年間とあるが最高

期限を5年間とすることが出来る

たほか本市の知名度向上に向けたPR動画を制作しています。

**質問**…本市にとってのメリットについてどのように捉えているのか伺いたい。  
**答弁**…特に、財政支援としての各種交付は従来の各省庁の補助メニューにはない独自事業であつても実施することが可能となり本市にとって大きなメリットと考えています。

ないか伺いたい。  
**答弁**…市営バスだけでなく、東野バス及びデマンド交通にも無料乗車券を拡大したため、申請者が増加したものと思われま

有効期限の延長は高齢者の運転免許証の自主返納を促進させることについて有効であると考え

えますので、今後関係機関と協議し、検討していきたいと考えています。